

住まいの危険度をチェックしよう

ステップ 1 下の枠内に自宅の“平面図”を描いてみよう。

ステップ 2 左のページを参考に、自宅の危険な場所をチェックしてみよう。

ステップ 3 電気のブレーカー、ガスの元栓やマイコンメーターの場所を確認しよう。

震災発生後、避難する場合は必ずブレーカーを落とし、ガスの元栓も忘れずに閉めましょう。過去の震災では、停電回復後の通電火災が多数発生しています。

ステップ 4 普段過ごす部屋から屋外への“避難経路”を考えてみよう。

地震発生後の家の中は、倒れた家具や割れたガラスなどが散乱し、屋外に出るのが難しくなります。

ステップ 5 地震発生後も我が家で生活するため、次のことを考えておこう。

- ▶ どの部屋で生活するか？
- ▶ 食料、飲料水はどうするか？
- ▶ トイレの問題は？
- ▶ 寒さ対策は？

